

大賞はいぐね?【IGN】

南陽20代のまちづくり企画コンペ



寸劇形式で企画を発表し、大賞に輝いた、
いぐね?【IGN】＝南陽市えくぼプラザ

イベント参画の仕組み提案

二十代の若者が半年間かけて練り上げてきたまちづくりのアイデアを競う南陽市青年教育推進事業「夢はぐくむ故郷（まち）南陽」コンペティションの公開審査会が一日、市えくぼプラザで開かれ、五チームが企画を発表した。審査の結果、既存の地域イベントに若者が参画して活性化につながる仕組みづくりを提案した、いぐね?【IGN】（戸田惣一郎代表、五人）が大賞に輝き、賞金百万円を手にした。

同事業は、まちづくりの核となる青年を育成しようとする南陽市独自の要素が入ったまちづくり事業を検討してきた。

大賞に選ばれた、いぐね?は「新しい青年団のカタチ」と題し、若者がやりたいことを継続的に実践していくための手法として、地域イベントの企画担当者や若者グループを仲介するシステムを発表。具体的には、赤湯ナイトバザ

ールなど、地域イベントの中で若者の発想を生かすことができる「スキマ枠」を確保し、そこで若者独自の企画を實踐してイベントの活性化につなげていく仕組みを提案した。審査員からは「今回のコンペを土台に、その成果と課題を洗い出し、具体的で独自性のある仕組みを提案した」との評価を受けた。

審査会では、いぐね?のほか▽落合とゆかいな仲間たち（落合祐弥代表、六人）▽梨郷青年団（小関新太郎代表、二十四人）▽H O P E（加藤陽之代表、十六人）▽Team んだGO!（木村裕二代表、四人）が企画を発表。片桐隆嗣東北芸術工科大学教授ら三人が審査した。市教委は〇九年度、今回のコンペの成果を實踐に移すための予算措置を検討している。